

ヴァイオリン 矢部達哉 &弦楽アンサンブル

～没後1周年エンニオ・
モリコーネに捧ぐ～

モリコーネの書いたメロディーを聴くと、
心が震えて涙が溢れます。

今、コロナでストレスを抱える人々に、
モリコーネの音楽を聴いていただくことは、
無条件に心が動かされるひとときになると信じています。

矢部達哉

プログラム

モリコーネ:「マレーナ」よりマレーナ
モリコーネ: クアルティエーレ
モリコーネ: カノネ・インヴェルソ
モリコーネ:「ミッション」よりガブリエルのオーボエ
モリコーネ: ニュー・シネマ・パラダイス
モリコーネ: 心澄みやかなるヴァイオリン弾き
バッハ: ヴァイオリン協奏曲第1番
チャイコフスキー: 弦楽のためのセレナーデ

出演者

●矢部達哉(ソロ)
＜ヴァイオリン＞ ●山本友重(コンサートマスター)／●菅谷史／●東條太河／●戸上眞里／●直江智沙子／●吉江美桜
＜ヴィオラ＞ ●瀧本麻衣子／●森口恭子 ＜チェロ＞ ●清水詩織／●中実穂 ＜コントラバス＞ ●吉田秀

2021年 12月19日(日) 14:00開演[13:00開場]

キッセイ文化ホール(長野県松本文化会館)大ホール

一般:4,000円/学生(大学生以下):1,000円(全席指定)

【プレイガイド】

窓口・電話予約 [キッセイ文化ホール] TEL.0263-34-7100
インターネット [イベントナガノ] <https://www.event-nagano.net/>
店頭窓口 [井上プレイガイド] TEL.0263-34-3655
[平安堂あづみ野店] TEL.0263-72-8877

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※大学生以下の方は、当日、年齢確認のできる身分証明書等の提示をお願いする場合がございます。
※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて開催いたします。
※駐車場に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

主催:キッセイ文化ホール(一般財団法人長野県文化振興事業団)
共催:長野県、長野県教育委員会、信濃毎日新聞社
後援:市民タイムス、MGプレス、公益財団法人八十二文化財団

【お問合せ・ご予約】キッセイ文化ホール(長野県松本文化会館) TEL.0263-34-7100



矢部 達哉

Tatsuya Yabe (Violin)

洗練された美しい音色と深い音楽性によって、日本の楽壇のリーダーとして最も活躍しているヴァイオリニストの一人。

1968年東京生まれ。江藤俊哉に師事。89年桐朋学園ディプロマコース修了後、90年22歳の若さで東京都交響楽団のソロ・コンサートマスターに抜擢され、2020年30周年を迎えた。サイトウ・キネン・オーケストラで小澤征爾の指揮の下オペラや交響曲のコンサートマスターを務めるほか、トリトン晴れた海のオーケストラのコンサートマスター及び京都アルティ弦楽四重奏団のメンバーとして定期演奏会を行っている。97年、NHK連続テレビ小説「あぐり」のヴァイオリン・ソロで大きな反響を呼ぶ。2003年にはNHKテレビ放送50年記念ドラマ「川、いつか海へ（作曲：岩代太郎）」の音楽を演奏。

オーケストラの傍らソロ、室内楽で活躍。ソリストとして、小澤征爾、若杉弘、ジャン・フルネ、ベルンハルト・クレイ、ジェームズ・デブリースト、エリアフ・インバル、ガリー・ベルティーニ等の著名指揮者と共演。

2009年、音楽の友4月号では、読者の選んだ“私の好きな国内オーケストラのコンサートマスター”で1位に選ばれ、2016年文藝春秋2月号で「日本を元気にする逸材125人」の一人に選ばれている。

94年度第5回出光音楽賞、平成8年度村松賞、96年第1回ホテルオークラ音楽賞受賞。

ソリストとして、ソニークラシカルより横山幸雄とのデュオ2枚を含む5枚、オクタヴィア・レコードより2枚（モーツァルトのヴァイオリン協奏曲第4番&第5番「トルコ風」及び横山幸雄とのデュオでベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ第9番「クロイツェル」&第10番）のCDが発売されている。

<http://twitter.com/TatsuyaYabeVL>

エンニオ・モリコーネ(Ennio Morricone)

イタリアを代表する世界的な映画音楽の巨匠。

1960年代前半から映画音楽の作曲を始め、セルジオ・レオーネ監督の「荒野の用心棒」(64)が世界的に大ヒットし、マカロニ・ウエスタンの作曲家として欠かせない存在になる。その後もレオーネ監督をはじめ、ベルナルド・ベルトルッチ、ピエル・パオロ・パゾリーニらイタリアを代表する監督の作品に携わる。アメリカでは、テレンス・マリック監督の「天国の日々」(78)でアカデミー作曲賞に初ノミネートされ、「ミッション」(86)、「アンタッチャブル」(87)等でも同賞の候補に挙がった。イタリア出身のジュゼッペ・トルナトーレ監督作「ニュー・シネマ・パラダイス」(88)のメインテーマはあまりにも有名で、トルナトーレ監督の劇映画全作でも音楽を手がけている。クエンティン・タランティーノ監督はモリコーネを敬愛しており、同監督の「ヘイトフル・エイト」(15)でアカデミー作曲賞を受賞した。

50年以上にわたり500本以上の長編映画の音楽を手がけ、95年にベネチア国際映画祭の生涯金獅子賞、07年にはアカデミー名誉賞が贈られた。日本でもNHK大河ドラマ「武蔵 MUSASHI」(03)で音楽を担当した。20年7月、入院していたローマの病院で死去。91歳であった。

モリコーネが矢部達哉に捧げた「心澄みやかなるヴァイオリン弾き」

矢部達哉は、2002年にモリコーネとのコラボレーション・アルバム「ディア・モリコーネ」(ヴァイオリン：矢部達哉、シンフォニカ・ムジカーザ)をリリース。アルバムには「ニュー・シネマ・パラダイス」や「ミッション～ガブリエルのオーボエ」「マレーナ」が収録されているほか、モリコーネが矢部に捧げた「心澄みやかなるヴァイオリン弾き」という曲が、モリコーネ本人からの讃辞と共に収録されている。